

APL 初発・進行期
APL97 consolidation 2

患者ID: @PATIENTID

コース目

患者氏名: @PATIENTNAME

1コース: 21日～

目標: 1コース

身長 (cm)	体重 (kg)	体表面積 (m ²)
\$HEIGHT01_Doc	\$WEIGHT01_Doc	#VALUE!

アルコールアレルギー ※必ず有無を確認

使用薬剤: ダウノルビシン (DNR): ダウノルビシン注 20mg/V/5mL
 エトポシド (VP-16): エトポシド点滴静注液 100mg/V/5mL
 シタラビン (Ara-C): シタラビン注 20mg/A/1mL, 200mg/A/10mL

※ HbC抗体測定し、陽性ならTaqMan HBV検査までおこなうこと
 ※ 日和見感染症に注意。胃潰瘍 (PPIなど)、口内炎、便秘の予防について考慮すること
 ※ APL97 Inductionで寛解を確認した後、出来るだけ早期に開始。

薬剤	投与量	計算値	投与量 (mg)	投与日
ダウノルビシン	50 mg/m ²	#VALUE!		1～3
エトポシド	100 mg/m ²	#VALUE!		1～5
シタラビン	140 mg/m ²	#VALUE!		1～5

<< タイムスケジュール >>

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

開始日 (Day1): 1月1日 (金)

時刻	①	②	③	④	⑤	投与量 (mg)
0時00分	①	生理食塩液 50mL	+	グラニセロン 1 A		
		15分で点滴静注				
0時15分	②	生理食塩液 100mL	+	ダウノルビシン注	0mg	
		30分で点滴静注				
0時45分	③	生理食塩液 500mL	+	エトポシド	0mg	
		1時間で点滴静注			0.0ml	
		DEHPフリーの輸液セットを使用する				
1時45分	④	生理食塩液 50mL		フラッシュ		
2時00分	⑤	生理食塩液 500mL	+	シタラビン注	0mg	
		24時間で点滴静注			0.0ml	

Day 2	1月2日 (土)					
0時00分	①	生理食塩液 50mL	+	グラニセロン 1 A		
		15分で点滴静注				
0時15分	②	生理食塩液 100mL	+	ダウノルビシン注	0mg	
		30分で点滴静注				
0時45分	③	生理食塩液 500mL	+	エトポシド	0mg	
		1時間で点滴静注			0.0ml	
		DEHPフリーの輸液セットを使用する				
1時45分	④	生理食塩液 50mL		フラッシュ		
2時00分	⑤	生理食塩液 500mL	+	シタラビン注	0mg	
		24時間で点滴静注			0.0ml	

Day 3	1月3日 (日)					
0時00分	①	生理食塩液 50mL	+	グラニセロン 1 A		
		15分で点滴静注				
0時15分	②	生理食塩液 100mL	+	ダウノルビシン注	0mg	
		30分で点滴静注				
0時45分	③	生理食塩液 500mL	+	エトポシド	0mg	
		1時間で点滴静注			0.0ml	
		DEHPフリーの輸液セットを使用する				
1時45分	④	生理食塩液 50mL		フラッシュ		
2時00分	⑤	生理食塩液 500mL	+	シタラビン注	0mg	
		24時間で点滴静注			0.0ml	

Day 4	1月4日 (月)					
0時30分	①	生理食塩液 50mL	+	グラニセロン 1 A		
		15分で点滴静注				
0時45分	②	生理食塩液 500mL	+	エトポシド	0mg	
		1時間で点滴静注			0.0ml	
		DEHPフリーの輸液セットを使用する				
1時45分	③	生理食塩液 50mL		フラッシュ		
2時00分	④	生理食塩液 500mL	+	シタラビン注	0mg	
		24時間で点滴静注			0.0ml	

Day 5	1月5日 (火)					
0時30分	①	生理食塩液 50mL	+	グラニセロン 1 A		
		15分で点滴静注				
0時45分	②	生理食塩液 500mL	+	エトポシド	0mg	
		1時間で点滴静注			0.0ml	
		DEHPフリーの輸液セットを使用する				
1時45分	③	生理食塩液 50mL		フラッシュ		
2時00分	④	生理食塩液 500mL	+	シタラビン注	0mg	
		24時間で点滴静注			0.0ml	

Day 6	1月1日 (日)					
2時00分	①	生理食塩液 50mL		フラッシュ		

REFERENCE

Norio Asou, yuji Kishimoto, Hitoshi Kiyoi, et al BLOOD 2007; 110: 59-66
 A randomized study with or without intensified maintenance chemotherapy in patients with acute promyelocytic leukemia who have become negative for PML-RAR α transcript after consolidation therapy: The Japan Adult Leukemia Study Group (JALSG) APL97 study
 2011年化学療法プロトコル審査委員会承認: 2011年5月9日 更新: 2016年2月8日